



2018 - 2019 会長 五味 徳雄 幹事 北原 正博

Vol.11 1757 2018.9.26

五味会長挨拶

秋盛りです。例年だとこの時期秋晴れの晴天が続きましたが、今年は天候不順で天気には恵まれません、体調管理には注意して元気でいたいものです。



講師の寺沢様には遠いところとお忙しいところお出でいただき厚くお礼申し上げます。後ほど卓話いただきたいです。

今日お話いただける満蒙開拓団の事実も又、わずか数十年の歴史の満州国の事実も平成の時代も終わりを迎えた今日、昭和の記憶も薄れていくなか我々にとって大きな過ちであった太平洋戦争の中の辛い悲しい歴史を決して忘れてはならないと思います。

中国の古典の中に、「見るべし性天いまだ常に枯橋せず、機神最も宜しく解発すべき」とあります。人はどんなに打ちひしがれても、どんなに疲れきっても立ち直る力を秘めています。大切な家族や共に道を歩んできた仲間、自分を慕う後輩の声を聞けばあなたの心に力がみなぎってくるはずだと思います。どんな困難にあっても立ち上がる力を持ち続けましょう。

※別紙幹事報告書

9月度のテーマ

「基本的教育と識字率向上月間」

・満蒙開拓平和記念館 館長 寺沢秀文先生に「満蒙開拓の史実並びにリニア中央新幹線事業ば現状」をテーマに卓話をいただきました。

・卓話後に満蒙開拓平和記念館の活動を支援するため寄付金を贈呈いたしました。



卓話

不動産鑑定士  
寺沢 秀文 様



「飯田の満蒙開拓平和記念と  
リニアモーターカーの進捗について」

①満蒙開拓団の史実と記念館の役割について

日本国内の二男、三男を中心にした人減らし、日露戦争で得た満州をソ連の侵攻から守るための2点が満蒙開拓団結成の背景にあった。

全国から約27万人(32万人との統計もある)が旧満州にわたりその中でも長野県が全国一多く、諏訪地区からも2973人の名簿がある。

ソ連軍が満州に侵攻したときには、日本軍(関東軍)は満州を放棄地域として駐留しておらず、守られなかった開拓団の人々は悲惨な集団自決や日本人残留孤児・夫人などの問題が戦後も続いている。

何とか日本に帰ることが出来た人々も、新たな開拓地では思うに任せず、離農した人が多数いた。

国策であっても「おかしなものはおかしい」と感じられる感性を学ぶ必要がある。

日本の歴史の中で日本がアジア諸国に対して何をしたかもちゃんと教育していくことが今後必要ではないか。

②リニア中央新幹線の現状と課題

2027年に東京(品川)ー名古屋間が開業の予定で飯田ー品川は45分、料金は7500円の見込み(現在の高速バスは4000円余り)となる。

長野県の試算では、飯田に設置される駅の利用見込みは1日6800人であるが、今まで開業した新幹線の実態をみると、試算の30%にとどまっている。

経済波及効果もあるが、ストロー現象や新幹線先進地の現状をみても、法人の支店や出張所の統合など厳しい現状もある。

ニコニコBOX

人数 27人  
金額 69,000円

- ◎五味徳雄会長 寺沢先生今日は宜しくお願ひします。
- ◎柳澤孝男会員 シベリア抑留経験のある父の希望で4年前に満蒙開拓平和記念館に行きました。
- ◎高見恭司会員 先日のかんでんパパ 多数の出席ありがとうございました。
- ◎宮澤親義会員 明日は誕生日、28日結婚記念日51周年になりました。
- ◎矢崎敏臣会員 寺沢先生、本日の例会宜しくお願ひします。
- ◎池田輝明会員 長野県医師会ゴルフ大会で今年も優勝することができました。

出席報告

会員数 55名  
出席 45名  
出席率 82%